

事業所名 わんすてっぷ

公表日 2025年 4月 1日

利用児童数 43名

回収数 39枚

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	3	0	0	・もっと広いと嬉しいです。高校生の為 ・公園にもよく連れて行ってくれます。	・構造化する等、児童が1つの場所で過ごすのではなく、空間を広く活用出来るようにする。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	34	5	0	0	・配置数は確認したことがありません。 今度、聞いてみます。(以前に聞いて、こちらが忘れていたらすみません) ・大変充実していると感じる。	・配置基準は適切だが、より良い支援を考えると国の定める基準の人員では不足を感じることもある。その際はスポットの職員を配置する等、工夫する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	9	0	0	・建物は古いけれど、色々工夫されているようです。	・防音のため、マットが分厚くなっている。段差等を出来る限り少なくする工夫を検討する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	39	0	0	0	・とてもきめ細かな内容で感謝しています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	2	0	0	・子どもがいつも大喜びで帰宅します。	・先に予定を立てることで固定化しないようにする。 ・MTで共有、相談する。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	20	11	1	・障がいのない子ども、というのは不明(なかなか難しいと思います)。 ・必要を感じていません。 ・今のところ、通っている曜日ではなかったように思います。 ・不明。	・地域の公園を活用する。
保護者 への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39	0	0	0	・とても丁寧に分かりやすいです。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていますか。	39	0	0	0	・毎度の送迎時、アセスメントのほかに、常時代表社員のかたに相談できる!	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	39	0	0	0	・同上(毎度の送迎時、アセスメントのほかに、常時代表社員のかたに相談できる!)。大変手厚いです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	14	7	1	・会社内ではおしゃべり会の企画等をしていただいているが(いつもありがとうございます!!)、放デイとしてどうか。 ・放デイの枠を超えた支援があり、それが非常に良い。	・パルフェイトの取り組みを活用していく。そのためにチラシの配布等、知ってもらうための取り組みを行う。 ・あすでの活用も検討する。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。(※苦情の対応についての質問)	39	0	0	0	・この施設ほど迅速かつ適切なところは、なかなか出会えないと思う。すごい。	・引き続き、連絡帳や公式LINEを通じて対応する
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39	0	0	0	・他ではなかなか出会えない水準の配慮がなされている。	・引き続き、連絡帳や公式LINEを通じて対応する
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	38	1	0	0	・発信はかなり多いと思う。充実していて有難い。	・ブログにて日々の支援を発信していく。 ・また、行事については必要に応じて発信している。 ・自己評価についてはHPで公表し、アセスメント時に公表している旨を伝えていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	1	0	0	・信頼しています。ここは大丈夫。	・個人情報については研修を実施し、意識を高める取り組みを検討する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	4	0	0	・色々として下さっています。安心して子供を預けられます。	・研修を行っているが、不足している部分もある。引き続き、実施していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	37	2	0	0	・しっかりやってくれていて安心です。	・研修を行っているが、不足している部分もある。引き続き、実施していく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。						
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	36	3	0	0	・本人は楽しみにしており、親としても安心して送り出せます。 ・ここが1番好きだと言っています。	・安心して過ごせるように環境を整える。 ・送迎時を含め、デイでの様子を共有していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	0	0	0	・いつも本当にありがとうございます!! ・親としてもここが1番信頼出来て好きです。	

※昨年と同様のアンケート用紙を使用したため、項目としてなかった箇所は斜線をしている。

○事業所名	わんすてっぷ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 29日 ~ 2025年 3月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43 (回答者数)	39
○従業者評価実施期間	2025年 1月 29日 ~ 2025年 3月 22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事前のミーティングや打ち合わせ、確認等は適宜、実施が来ている。	・サービス前にミーティングを行う。 ・長期休みで実施が難しい際は、LINEでの連絡や前日に確認する等、他の手段も活用している。 ・送迎後にその日の児童の気になった様子や特記事項を共有している。	・長期休みやイレギュラーな休みが続くと、打ち合わせが不十分になる時があるので、他の手段をもっと活用する。
2	・個別支援計画の作成が適切に行われている。	・個別支援計画を見守り支援管理責任者がアセスメント、モニタリングを基に作成している。 ・保護者と話し合いを行い、支援方針を相談し、それを基に作成している。	・必要に応じて他スタッフもアセスメントやモニタリングに参加出来る体制を検討する。 ・質の向上のため、研修の実施を検討する。
3	・保護者と子どもの情報を共有したり、日ごろからコミュニケーションが来ている。	・送迎時に情報を共有している。 ・連絡帳で様子を共有している。 ・必要に応じて、LINEも活用している。	・共有する内容の質が向上出来るように、他スタッフと児童の様子を伝えたり、付箋に残したりを行えるように意識付けする。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・空間、環境等のハード面に課題がある。 ・人員配置は適切だが、より良い支援をするためには不足を感じる部分がある。	・環境面については、階段等の対応は難しいが、マット等の段差がそのままになっている所がある。 ・棚やパーテーション等の設置が不十分な部分がある。(耐久に課題がある) ・児童のイレギュラーな事態に対応しきれない部分がある。	・構造化する等、児童が1つの場所で過ごすのではなく、空間を広く活用出来るようにする。 ・マットや棚等の危険箇所を探し、必要に応じて固定や変更等の対応を検討する。 ・配置基準は適切だが、より良い支援を考えると不足を感じることもある。その際はスポットの職員を配置する等、工夫する。
2	・緊急対応マニュアルや非常災害時の備えについて、保護者への周知が不足している。 ・また、スタッフ間でも不足を感じている部分がある。	・緊急対応マニュアルや非常災害時の備えはしているが、研修が不十分な部分がある。 ・保護者への周知をする機会が不足している。	・研修を引き続き、実施していく。 ・研修の内容をブログで発信していく。
3	・地域交流や外部への関わりが少ない。 ・また、保護者同士の交流の場が提供出来ていない。	・地域交流の場や外部との関わり場に参加する体制や人員確保、準備等が難しい。 ・働いている保護者や交流の場を望んでいない保護者も多く、交流の場の提供が難しい。	・地域のキットパスのイベントや郵便局のイベント、他の福祉事業所主催の夏祭りに過去参加した。回数を多くするのは難しいが、参加の機会があれば体制を整え、参加出来るようにする。 ・保護者交流の場はパルフェイトの取り組みを活用する。そのため、チラシ配布等、取り組みを知って貰うようにする。